



気持ちも明るくなる新色の春モデル

## 春の限定色モデル

### 総社デニムマスク

2月19日、市内の障がい者就労継続支援A型・B型事業所が製作している総社デニムマスクの春モデルが発売されました。

春モデルは、桜や新緑をイメージしたピンクとミントグリーンの2色。この新色は、要望が多かった色を数量限定で製作したものです。市役所窓口やインターネット販売サイト Amazonなどで購入できます。

## 家庭に眠っている食料品をつなぐ

### 順正学園フードドライブ in 総社

順正学園が取り組んでいる子ども支援事業「順正デリシャスフードキッズクラブ」の活動に協力し、1月27日から2月26日まで、フードドライブを行いました。開始日には、順正学園の学生4人と市職員が来庁者にチラシを配布。家庭で余っている食料品の寄付を呼び掛けました。

市役所玄関に設置したコーナーには、レトルトカレーやインスタントラーメンなど多くの食料品が集まりました。寄付された食料品は、子どもがいるクラブ登録済の生活困窮世帯に渡されます。



市内外から届けられた多くの食料品

## 模範の児童・生徒を表彰

### 総優賞表彰式

市内の児童・生徒を表彰する総優賞の表彰式が2月12日、総合福祉センターで行われました。

表彰されたのは、市内小中学校の19人。最高学年として学校行事に積極的に取り組んで周りをリードしたり、生徒会や委員会、ボランティア活動に熱心に取り組んだりして、他の模範となっていることが評価されました。

式では、一人ひとりの受賞理由が紹介され、教育長から賞状と記念品が手渡されました。



表彰された市内小中学校の児童・生徒



## 雪舟や総社ゆかりの作品を鑑賞

### 雪舟生誕600年記念展（後期）

1月5日から2月23日まで、総社吉備路文化館で「雪舟生誕600年記念展（後期）雪舟とマルマル」が開催されました。

1月31日にはギャラリートークを実施し、学芸員が雪舟や総社にゆかりのある各展示作品について、作風や世界観などを紹介。参加者は作品への理解を深め、じっくりと鑑賞していました。



ギャラリートークでは、学芸員が作品を丁寧に説明（写真左）興味深く鑑賞する来館者（写真上）

## ミニフォト

### 地元企業への就職を支援



求職者は積極的に面接に臨んだ

2月9日、雇用に積極的な事業所と求職者をマッチングする高梁市・総社市合同就職フェアが、サンロード吉備路で開催されました。両市から30事業所が出席。良い人材を確保しようと、求職者と丁寧に面接をしていました。

### 久保さん 100歳おめでとう



家族に祝福される久保さん

久保芳己さん（西郡）が2月3日に満100歳の誕生日を迎えられ、7日に市から記念品が贈られました。今もシニアカーで買い物に行ったり、農作業をしたりする久保さん。長寿の秘訣は、好きなことをすることだそうです。

### 思いを歌に乗せて



語りと歌でメッセージを伝える

1月30日、昭和公民館で巡回ふれあい講演会が開かれました。ソプラノ歌手の村上彩子さんが講演し、『アメイジング・グレイス』や『アヴェ・マリア』などの歌も披露。訪れた人は、心に響く美しい歌声に魅了されていました。

### 障がい者の就労を支援



個別に面接や相談を行った

障がい者の自立・就労支援を目的に、障がい者ワークわくそうじや就職面接会が1月29日、総合福祉センターで開催されました。就職を希望する47人が参加し、企業や事業所の代表者から熱心に話を聞いていました。

### 文化財と歴史を守る



三重塔へ向けて放水

1月26日の文化財防火デーを前に20日、消防訓練が井山宝福寺で行われました。国指定重要文化財の三重塔付近の山林から出火した想定で実施。参加した消防署員や関係者らが連携し、消火活動の手順を確認していました。

### 生活の中で感じた思いを表現



写真左から、平田さんと西尾さん

「社会を明るくする運動」岡山県推進委員会標語で、総社西中学校2年の平田好晃さんと3年の西尾友花さんが優秀賞を受賞。1月14日に市長から表彰状が手渡されました。入賞標語は県内の応募総数3022作品の中から選ばれました。